

厚生文教常任委員会（令和6年7月2日～3日）

山形県天童市 ◆ 子育て支援のトータル施策状況について

天童市では「住んでみたい、住み続けたい、子どもを生み育てたいまち」を基本理念とし、「子育て支援日本一挑戦中!」を掲げ、子ども・子育て支援事業に積極的に取り組んでおり、子どもの数も減少率が低く、合計特殊出生率も全国平均を上回って推移している。

「第二期天童市子ども・子育て支援事業計画」(R2～R6年度)

子どもを持つ家庭への幅広い子育て支援事業のさらなる充実

・子育て支援事業「病児・病後児保育」

「多胎児世帯ヘルパー派遣事業」

・障害児「発達支援室」

・地域における子育て「孫育て」「子ども食堂への支援」など



(天童市役所前にて)

山形県東根市 ◆ 複合施設の建設の経緯および運営状況について

「子どもたちが生まれたことに喜びを感じ」「若者が住むことに誇りを持ち」「高齢者が暮らすことに安心を実感できる」まちの実現を目指し、保健福祉および子育て支援の機能を兼ね備えた総合福祉センターの建設が進められ、平成17年「さくらんぼタントフルセンター」がオープンした。建設から既に20年経過した今なお、維持管理および運営の実績は各方面から高く評価されている。

東根市の市民で立ち上げた「NPO法人クリエイティブひがしね」は、市民目線での事業実施、細やかな心配り、市民ニーズの把握、市民に近い存在という行政だけでは成し得なかったソフト面の充実を図っている。官民連携の成功事例と言える施設である。

東根市：さくらんぼタントフルセンター



子どもシアター



大型遊具



保育所の庭園

センター内施設には、保育所・子育て支援センター・屋内大型遊戯施設・子どもシアター・調理実習室・休日診療所・大ホール（502席）等が設置され、保健・福祉・医療を総合的に推進する多機能集積施設である。

山形県新庄市 ◆ 小中一貫義務教育学校について

平成17年に「小中一貫教育の導入」の検討が始まり、平成27年に施設一体型の小中一貫校「萩野学園」が開校した。

平成28年、学校教育法が改正され「小中一貫義務教育学校萩野学園」となった。萩野学園は山形県最初の小中一貫校として、開校から10年目を迎え実績もあり、その学校運営についても高く評価されている。施設見学、小中一貫教育の取り組みと義務教育学校の成果と課題の検証結果など、今後の参考になる研修となった。



(新庄市：萩野学園での懇談)

各常任委員会共に、今回の視察を参考に、白石市の政策に反映させるべく成果と検証を行い、政策提言に向け、さらなる活動をしてまいります。